

～建設現場の生産性向上に係る優れた取り組みを表彰～

あいこんすとらくしよん

「i-Construction大賞」の優秀賞に中部地方で唯一、飛騨地域の(株)新井組が選ばれました

1. 概要：国土交通省では、建設現場の生産性向上に係る優れた取組を表彰するため、今年度「あいこんすとらくしよんi-Construction大賞」を創設し、11月13日に受賞者となる計12団体（国土交通大臣賞2団体、優秀賞10団体）を決定しました。
中部地方整備局管内では、唯一、飛騨地域の(株)新井組が選ばれました。後日、授与式が開催される予定です。

あいこんすとらくしよん

☆i-Construction大賞とは…

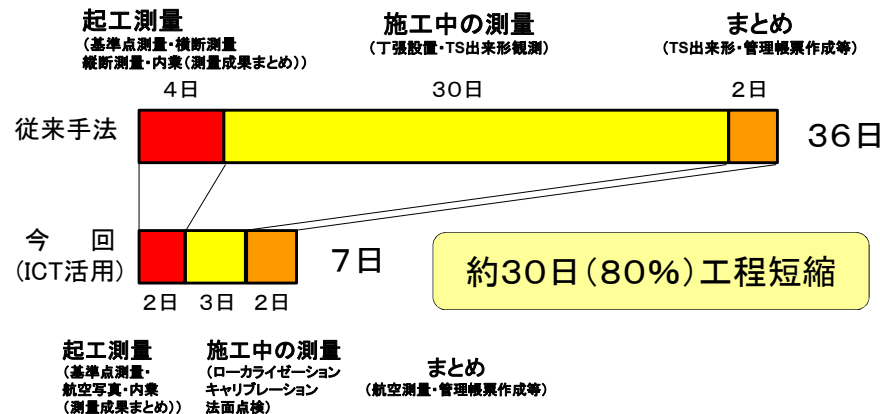
建設現場の生産性向上(i-Construction)に係る優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、i-Constructionに係る取組を推進することを目的に今年度、創設したものです。

2. 表彰団体名：【優秀賞】「あらいぐみ(株)新井組」平成27年度中部縦貫丹生川西部地区道路工事
3. 表彰式日時：後日、授与式が開催される予定です。
及び場所
4. 添付資料：あいこんすとらくしよんi-Construction大賞工事 別紙1
5. 解禁指定：なし
6. 配布先：高山記者クラブ
中部地方整備局記者クラブ
7. 問合せ先：国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所
副所長：奥田 学 (おくだ まなぶ)
工務課長：堀本 広男 (ほりもと ひろお)
TEL 0577-36-3821
FAX 0577-36-3801
URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/>



(株)新井組 平成27年中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事

●UAV測量による作業効率向上を検証



●MC、従来型バックホウの作業分担の設定



【工事概要】

工事延長 L=400m
 切土29,000m³
 路体盛土5,000m³
 路床盛土3,900m³
 法面整形(切土)3,310m²
 法面整形(盛土)1,930m²

●ICT建機のバケット位置精度確認に対する自社規定の設定

バケット位置精度確認 自社規定

- 確認回数
1回 → 2回 (AM・PM)
- 規格値
±50mm → ±30mm



●i-Construction 普及促進への取組み



○従来型バックホウで概ねの形状を施工し、ICTバックホウで正確さを要する仕上げと法面整形を施工することで、ICTバックホウの現場稼働期間を最適化し、コストを低減しつつ、総掘削作業期間の短縮を図った。

○日々のバケット位置精度の確認について、確認回数を「1回」から「2回」へ、規格値を「±50mm」から「±30mm」へ、とする自社規定を設けることにより、施工の品質向上を図った。

○中部地方整備局の「ICTアドバイザー」に認定され、多くの見学会や取材に対応し、ICT土工に関する研修・説明会への講師派遣を通じて、i-Constructionの普及促進に貢献した。